

PAT-NO: JP406127786A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06127786 A
TITLE: DOCUMENT STACKER

PUBN-DATE: May 10, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAGEYAMA, TSUTOMU	
IDOKAWA, YOSHIO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NEC CORP	N/A
NEC ENG LTD	N/A

APPL-NO: JP04273949
APPL-DATE: October 13, 1992

INT-CL (IPC): B65H031/02 , H04N001/00

US-CL-CURRENT: 271/207

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent the drop of the document in all the size smaller than A3, even if an angular part is largely cut in order to facilitate the taking-out for the document and recording paper.

CONSTITUTION: A flat part (A)1 and a flat part (B)2 among three flat parts are joined in V-shape in the vicinity of the diagonal line of an original document, and further, at the place far from a discharge port for the original document, one flat part (C)3 which is parallel to the flat part (A)1 is formed. An erecting rib (A)4 is installed on the flat part (A)1 close to the discharge port for the original document. Accordingly, the set line in the diagonal line direction can be formed on the placed original document, and even the angular part of a stacker is cut largely, the downward dangling of the original document from the cut part 12 is prevented. Further, the disposal of the original document in all the size smaller than A3 is enabled by adding a rib (B)5 on the flat part (A)1.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-127786

(43)公開日 平成6年(1994)5月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 H 31/02		7309-3F		
H 0 4 N 1/00	1 0 8 C	7046-5C		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-273949

(22)出願日 平成4年(1992)10月13日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(71)出願人 000232047

日本電気エンジニアリング株式会社

東京都港区西新橋3丁目20番4号

(72)発明者 景山 勉

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内

(72)発明者 井戸川 吉生

東京都港区西新橋三丁目20番4号日本電気エンジニアリング株式会社内

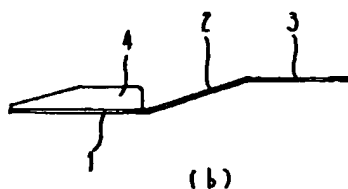
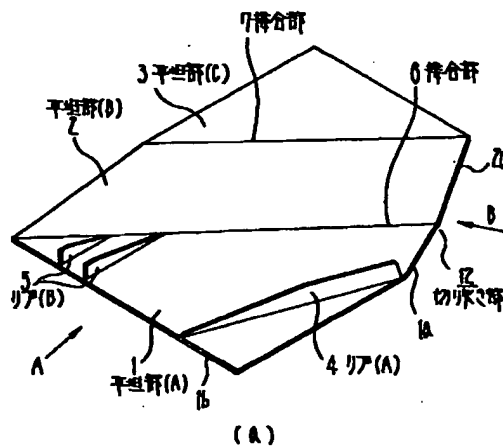
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 原稿スタッカ

(57)【要約】

【目的】原稿及び記録紙を取り出し易くするために角部を大きく切り欠いても、A3以下の全サイズの前稿が落下することを防ぐ。

【構成】3つの平坦部を有し、平坦部(A)1と平坦部(B)2が積載する原稿の対角線の近傍でくの字型に接合し、さらに原稿の排出口から遠ざかった所で、平坦部(A)1に平行なもう1つの平坦部(C)3を設ける。原稿の排出口に近い平坦部(A)1上には起立したリブ(A)4を設ける。これにより積載する原稿に対角線方向の腰をつけることが出来て、スタッカの角部を大きく切り欠いても、切り欠き部12から原稿が下へ垂れてしまうことがなくなる。更に平坦部(A)1上にリブ(B)5を追加することにより、A3以下の全サイズの前稿に対して対応が可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1ないし第3の3つの平坦部を有し、前記第1及び第2の平坦部が接合する第1の接合部は積載する方形の原稿の対角線に対し略平行で且つこの対角線の近傍にあり、前記第2及び第3の平坦部が接合する第2の接合部は前記対角線に対し略平行で且つ前記第1の接合部より原稿積載始端部から遠ざかった部位にあり、前記第1及び第3の平坦部は互いに平行で且つ水平面に対し略水平であり、前記第2の平坦部は水平面に対して傾斜して設けられ、前記第1及び第2の平坦部には前記方形の原稿を積載した際の先端角部に相当する部分を前記対角線に対して略直交する方向に切り欠いてなる切欠き部を設け、前記第1の平坦部上には前記原稿積載始端部から前記切欠き部に向って垂設したリブを有してなることを特徴とする原稿スタッカ。

【請求項2】 前記第1の平坦部上には前記リブに加え、前記原稿積載始端部の前記リブに対する反対側部分から前記第1の接合部に向って垂設した少なくとも1個の第2のリブを有することを特徴とする請求項1記載の原稿スタッカ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はファクシミリ送受信機に用いられる原稿スタッカの形状に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の原稿スタッカの形状は、原稿が下向きに摺りこみと原稿が落下しやすくなるので、原稿の下向きの摺りこみを防止する必要がある、図3に示すような形状が一般的であった。この形状では、中央部に凹み13を設けることにより図5(a)に示すように原稿8を変形させ、図5(b)に示すような原稿先端の摺りこみを防止している。しかし、この形状では、図5(c)に示すような原稿先端の角部の摺りこみを防止するために、スタッカの巾寸法を先端付近まで原稿巾と等しくする必要がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 図4は一般的なファクシミリ送受信機を示す図であり、矢印Cは操作を行う人の向きを示している。ファクシミリ送受信機では、図4のように複数のスタッカ14、15が上下に並んでいるのが一般的であるが、この従来のスタッカでは下側のスタッカ15上の紙が取り出しにくいという欠点があった。そこでこの欠点を除去するために、上側のスタッカの角部14aを大きく切り欠いたところ、上側のスタッカ14上の紙の先端がたれ下がってしまうという、新たな欠点が生じることとなる。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の原稿スタッカは、第1ないし第3の3つの平坦部を有し、前記第1及び第2の平坦部が接合する第1の接合部は積載する方形

の原稿の対角線に対し略平行で且つこの対角線の近傍にあり、前記第2及び第3の平坦部が接合する第2の接合部は前記対角線に対し略平行で且つ前記第1の接合部より原稿積載始端部から遠ざかった部位にあり、前記第1及び第3の平坦部は互いに平行で且つ水平面に対し略水平であり、前記第2の平坦部は水平面に対して傾斜して設けられ、前記第1及び第2の平坦部には前記方形の原稿を積載した際の先端角部に相当する部分を前記対角線に対して略直交する方向に切り欠いてなる切欠き部を設け、前記第1の平坦部上には前記原稿積載始端部から前記切欠き部に向って垂設したリブを有してなり、また前記第1の平坦部上には前記リブに加え、前記原稿積載始端部の前記リブに対する反対側部分から前記第1の接合部に向って垂設した少なくとも1個の第2のリブを有してもよい。

【0005】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の原稿スタッカの一実施例を示し、(a)は斜視図、(b)は(a)の矢視Bによる側面図である。図2は本実施例の原稿スタッカ上の紙の形状を示し、(a)は平面図、(b)及び(c)は斜視図である。

【0007】 本実施例の原稿スタッカは、平坦部(A)1、平坦部(B)2、平坦部(C)3の3つの平坦部と、平坦部(A)1上に設けたリブ(A)4、リブ(B)5とにより積載する原稿の対角線方向に腰をつける作用を生ぜしめ、スタッカ先端の角部に大きな切り欠き部を設けることを可能としたものである。またこの原稿スタッカは、最大でA3サイズ of 原稿を積載する大きさを有するものとする。

【0008】 図1(a)に示すように、平坦部(A)1と平坦部(B)2は互いに平行でなく、水平面に対してほぼ水平な平坦部(A)1に対して平坦部(B)2は傾斜して設けられ、互いに接合部6で接合される。この接合部6は、平坦部(A)1の端面1b側から矢印A方向に積載される方形の原稿の対角線(図2の符号9で表わす)にほぼ平行で且つこの対角線の位置の近傍に設けられるものとする。平坦部(C)3は平坦部(A)1に対して平行でほぼ水平であり、平坦部(C)3と平坦部(B)2は接合部7で接合され、この接合部7は接合部6と平行で且つ端面1bから遠ざかった部位に設けられる。即ち、この原稿スタッカは、図1(b)に示すように、側面から見てくの字型のものが2つ組合わされた如き形状となっている。

【0009】 さらに平坦部(A)1と平坦部(B)2には、積載する原稿の先端角部に相当する位置に、大きな切り欠き部1a、2aが接合部6、7に対して直交する形で設けられている。また平坦部(A)1上には、垂直に起立したリブ(A)4とリブ(B)5が設けられる。

3

リブ(A)4は端面1bから切り欠き部1aに向って設けられ、その位置と寸法は、このスタッカ上で図2

(c)に示すように紙を摺ませたときに、紙の裏面にほぼ接するように決定される。一方、リブ(B)5は、平坦部(A)1上のリブ(A)4と反対側の位置に端面1bから接合部6に向って設けられ、その位置と寸法は、このスタッカ上でリブ(A)4によって紙の後端の片側だけが図2(b)の符号11のようにはね上らないよう、紙の後端がほぼ水平になるように決定される。

【0010】次に、このような本実施例の原稿スタッカにおける紙の形状について説明する。最大サイズがA3サイズである紙8は、図示されていない排出機構により、図1(a)の矢印合A方向から排出されてこのスタッカ上に積載される。スタッカ上では、リブ(B)5と平坦部(C)3が仮に無い場合でも、紙8にはリブ(A)4と平坦部(B)2によって図2(b)のように対角線9による腰がつき、先端がたれ下ることがない。ただしこの場合には、紙8に角部のはね上り10、11が生じるが、更にリブ(B)5と平坦部(C)3を設けることによって角部のはね上りが抑止され、リブ(A)4とあいまって対角線9方向の腰が強まり、紙8は図1(c)に示すようなほぼ平坦な形状となる。従って、図1(a)及び図2(a)に示す切り欠き部12の寸法を大きくとっても、切り欠き部12の部分から紙8が下側に摺むことはなく、紙8がスタッカ上から落下することもない。

【0011】なお、上述したリブ(A)4、リブ(B)5の平坦部(A)1上の位置は、このスタッカ上に積載するなかで最小サイズ(例えばB5サイズ)の原稿が積載された場合でも、その原稿がリブ(A)4、リブ(B)5間に落下することなく、かつ上述した対角線9の腰をつける作用を生ぜしめるに充分な位置に設けるものとする。

【0012】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、互いに平

4

行でない2つの平坦部と1つのリブによって紙に対角線方向の腰をつくることにより、角部の切り欠きを大きくとったスタッカが得られる。そして原稿の先端と後端の角部のはね上りを、もう1つの平坦部とリブとを追加することにより抑制し、紙の形状をほぼ平坦にすることができ、スタッカ性能が向上する効果がある。また大きな切り欠きを設けることによって、複数枚のスタッカを上下に積み重ねても紙の取り出しが容易なスタッカを得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原稿スタッカの一実施例を示し、(a)は斜視図、(b)は(a)の矢視Bによる側面図である。

【図2】本発明の一実施例のスタッカ上の紙の形状を示し、(a)は平面図、(b)及び(c)は斜視図である。

【図3】従来の原稿スタッカの一例の斜視図である。

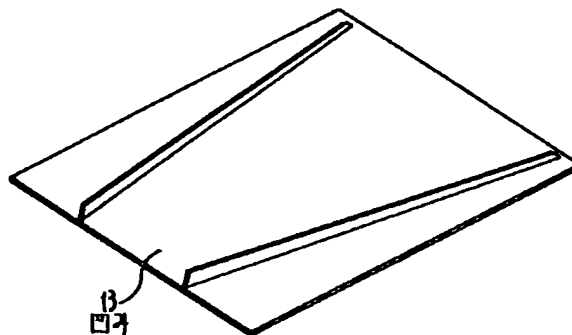
【図4】一般的なファクシミリ送受信機を示す(a)は斜視図、(b)は側面図である。

【図5】従来技術によるスタッカ上の紙の形状を(a)ないし(c)に示す斜視図である。

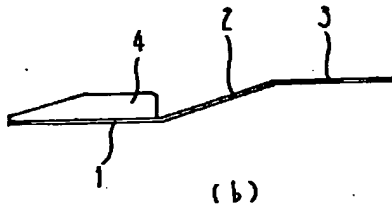
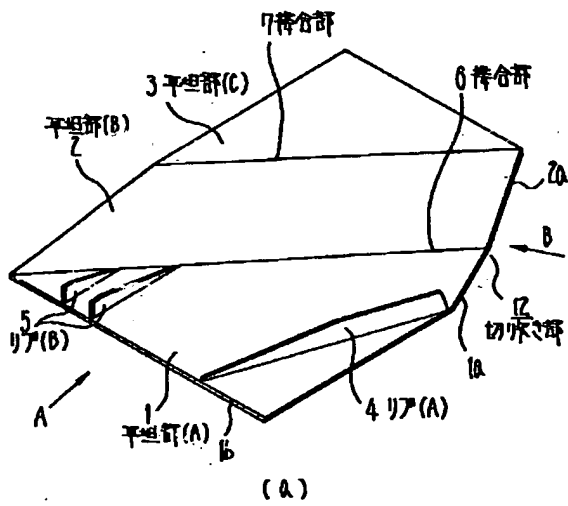
【符号の説明】

- 1 平坦部(A)
- 2 平坦部(B)
- 3 平坦部(C)
- 4 リブ(A)
- 5 リブ(B)
- 6, 7 接合部
- 8 紙
- 9 対角線
- 10 先端角部のはね上り
- 11 後端角部のはね上り
- 12 切り欠き部
- 13 凹み
- 14, 15 スタッカ

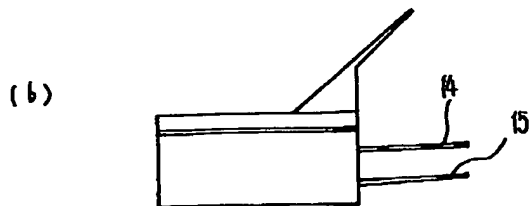
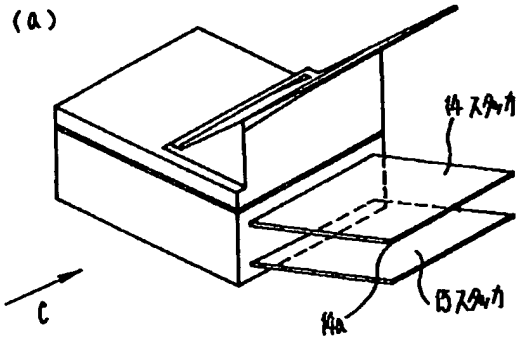
【図3】



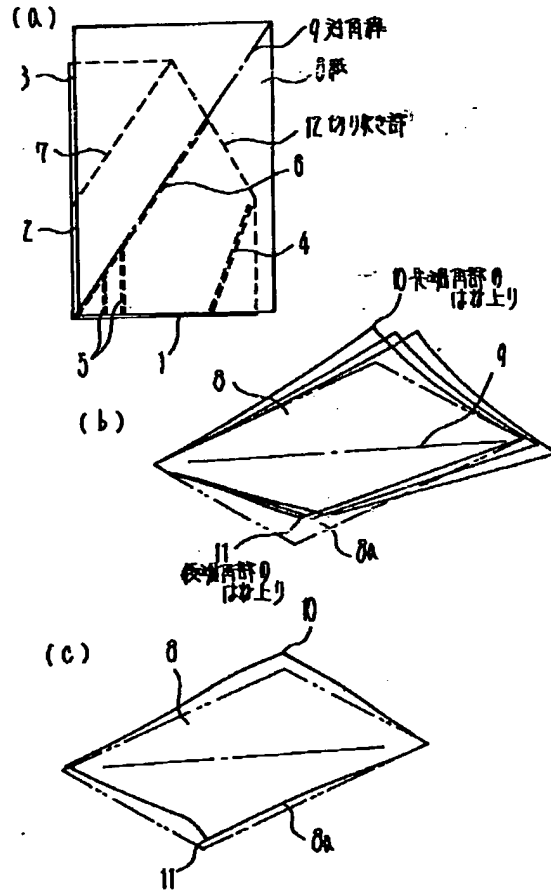
【図1】



【図4】



【図2】



【図5】

